

Hew Hue

TANIUCHI Haruko
TAKEDA Sayaka
KAWAGUCHI Yoko
HASHIMOTO Kiona

音をテーマとした展覧会を企画するにあたってビュービューとい
う隙間風のような音を使いたいという思いからまずタイトルを考
えました。英語の「Hew-Hue」は音からの連想で割り当て言
葉です。「hews」は「切り出す」、「hue」は「色」、「見え方、印
象」のことを意味していますが、これを解釈しなおせば、「ある
ようなことを意味しますが、これを切り出す、切り離す」と読み替えるこ
とができるようになります。直訳すると「切り出す/色・印象」
というように、色や印象だけを切り出す、切り離す」と読み替えるこ
とができるようになります。直訳すると「切り出す/色・印象」
この展覧会を構成する4人の作品は、それぞれ取り扱っている
素材は異なりますが、作品を鑑賞するとき、ある状況の印象だ
けが置き去りにされた感覚があるとともに、「作品」と「鑑賞者」
の間に、まるで風が通り抜けるようなある種の間に関係するよ
うに並ぶことで、まるで風の通り抜ける音が聞こえるような鑑賞
体験の場となれば幸いです。
(谷内春子)

3
26

wed

4
12

sat

P
M
12
-
7

(最終日) P M 5 休廊 日月火曜



風を受けとる (映像) 2025

川口 洋子 KAWAGUCHI Yoko

1990年大阪生まれ。2013年京都嵯峨芸術大学附属芸術文化研究所 研究科修了。続く生活の中で、不意に心を動かされ力メラを向ける時、それは隙間風に気づきそれを感じることに似る大切なもののように感じます。その風に、出来るだけ素直にいられたらと願っています。



Artist Talk

4/12 sat PM3~

登壇者：谷内春子・川口洋子・武田紗也加・橋本きおな



雨季の車窓から (白土、顔料、化粧土、釉薬、呉須) 2025

橋本 きおな HASHIMOTO Kiona

1999年名古屋生まれ。2024年京都市立芸術大学陶磁器領域修士課程修了。有機的な器物の形態と焼き物のもつ絵画的性質を用いて、感覚やイメージという曖昧なものを感じられるような表現を模索しています。



谷内春子・川口洋子

アーティストトーク

NEW

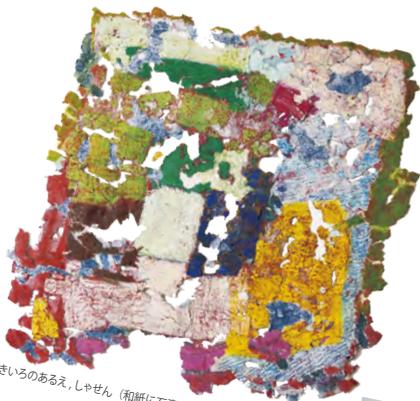
HEW



谷内 春子
TANIUCHI Haruko

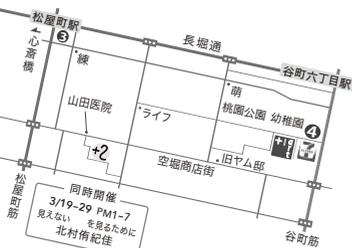
1986年京都市生まれ。2015年京都市立芸術大学大学院博士(後期)課程修了(美術博士)。岩絵具といった伝統的な画材の色彩や材質感と、平面上にもたらされる形象の配置がもたらすイメージをいかに扱いつつイメージを作品制作を通じて探究している。

Overlapping landscapes #1 (麻紙に膠彩) 2025



武田 紗也加 TAKEDA Sayaka

1995年大阪府生まれ。2021年京都市立芸術大学大学院 美術研究科 絵画専攻(油画)修士課程修了。絵画の構築される過程を解体し、それを表現するための画材として用いることで作品を制作している。



谷町六丁目駅 ④ 徒歩1分
出口百手の石段を下り小路を左に
+ | art 大阪市中央区谷町6-4-40 TEL 06-7712-6685